

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

HOKUTO TIMES

医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

44

2015/10



大洲中央病院では、
切望されていた整形外科医の増員、
沖永昌弘先生を迎えました。

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【整形外科手術】

当院では、昭和48年開院以来、市立大洲病院・喜多医師会病院と並んで地域医療・救急医療の中核を担ってきました。現在も週3日の救急診療をしていることから、幅広い年齢層の方が、さまざまな原因で受診してこられます。特に整形外科では、高齢者の方の転倒による骨折が増え、医師1名での対応が困難となっており、医師の補充が強く望まれていました。そのような中、昨年10月沖永昌弘先生をお迎えすることができました。

地域に根ざした 医療の形を目指して

沖永先生は、救急医療に力を入れている病院で外傷一般の経験を重ね、生まれ育った大洲に地域貢献したいという思いを実現すべく、この度の帰郷となりました。

「僕が住んでいた頃と比べて、大洲は便利になりましたが、高齢者が多いことは変わっていません。」

んね」(医師：沖永昌弘)

高齢者の方が骨折されると、ご本人もご家族もこのまま寝たきりになるのではという不安をお持ちになる方が多くいらっしゃいます。できるだけ早期に処置を行い、安静時間が少なくすむように努力していますが、高齢者の方は、合併症を抱えていらっしゃることも多く、術前の検査は欠かせません。そのため、内科の医師と協力体制を取ること、患者さんが安心して手術に臨めるよう準備



スタッフとともに
皆様のよりよい生活を支えています

Zoom Up!
OozuchuoHospital



【リハビリテーション風景】

をしています。

「高齢者の方は、骨折での入院を契機に持病の悪化を引き起こす可能性が高いため、早期離床と合併症の予防がとても大切です。私たちは、患者さんが安心してリハビリに専念できるよう体調を整え、不安の解消に努めています。」(病棟師長：高岡美智代)

各職種が専門性を活かし、 チーム医療を実践

先生は、東京の医療機関で勤務されていたことから、経験も豊富で、情報等も沢山お持ちになられています。患者さん・ご家族の方々への病状説明も分かりやすく、スタッフへの指示も的確で勉強になっています。

「沖永先生が赴任されて整形外科の手術も変わりました。イメージ透視下での手術が増え、放射線技師が加わることで、手術中の位置確認や治療効果などの画像的評価をサポートしています。今後は、人工関節分野の手術も検討されているようですので、私たちも適切なサポートができるよう知識・技術共に磨いていきたいと思います。」(放射線科 科長：美濃節雄)

また、1月に放射線科に新しい骨塩量測定装置を導入しました。これは、骨に含まれるカルシウムの量を測定するもので、骨粗しょう症や代謝性骨疾患の診断に役立ちます。骨のカルシウム量は多くの場合加齢と共に減少するため、骨がもろくなり折れやすくなります。この大洲・喜多地区も高齢化が進み、ちょっとした転倒で動けなくなり、受診してみると骨折していたという方が増えています。老後、寝たきりにならないために、一度自分の骨密度を測定してみたいかがでしょう。骨粗しょう症と診断されたら早期治療をお勧めします。

手術の方法が変わることで、手術時間も短縮さ

れ、患者さんの負担も最小限に抑えられています。患者さんの負担が少なければ、次のステップ(リハビリテーション)へ早く進むことができます。特に高齢者の骨折は、動かない期間が長いとそれだけ寝たきりになる確率が高くなります。患者さんの状態を見ながらではありますが、大腿骨なら翌日、背骨なら最長でも1週間程度でリハビリを開始しています。

「患者さんは、1日でも早く元の状態になって退院したいと望まれます。手術翌日から積極的なリハビリの指示が出るので、患者さんが動かない、動けないことによる筋力の低下を最小限に抑えることができます。」(理学療法士：上田拓郎)

当院では、患者さんの安全・安心を第一に考え、ハード面では手術室を拡充し、より使いやすい環境を整えました。ソフト面では、入院から退院までのスケジュールを明確にしたクリニカルパスを活用するなど、各職種が専門性を活かした関わりができるようさまざまな改善を重ねています。特に整形外科では、緊急入院後早期に痛みを改善するために、翌日には手術を行うため、必要な検査はできるだけ外来で済ませるようにしています。また、手術室の看護師が術前訪問を行い、患者さんが少しでも不安を軽減して手術に臨めるように援助していま



患者さんの持てる力を活用しながら訓練を進めています

す。その後、病棟で治療・リハビリを終了すれば在宅に帰られるわけですが、退院後も通院・リハビリは続きます。「外来では、入院中の経過を把握し、在宅に戻られた後も順調に過ごされているか確認しながら、必要時には生活指導も行うようにしています。」(外来師長：瀧本美保)

今後の展望について

「これから人工関節の需要が高くなると考えられます。手術というと躊躇される方も少なくないでしょうが、当院に来られている方の1割から2割の方は、人工関節にすることで痛みが楽になります。ただ、人工関節の手術は高齢者にとっては非常に身体への負担も大きく、整形外科の分野でもリスクの高い手術であるため、現状では当院はまだ行っておりません。今後は、さらなるマンパワーの拡充、各部署への周知徹底、前述のクリニカルパスの導入等、当院での人工関節手術実現への準備

を進めています。」(医師：沖永)

週に一度カンファレンスを行い、各職種の担当者が意見を交換する場を設けていますが、今後は病院オリジナルのパス、さらには地域の施設が相互協力を行える地域に根付いたパスを作り、退院後も患者さんのサポートを続けていく環境を整えるのが理想です。

地域特性から、お一人で暮らしていらっしゃる高齢者の方も多く、退院への不安をお持ちの方も少なくありません。住み慣れたご自宅に帰りたいという思いが強くても、一人で生活できるのかという不安で退院に対し消極的になられる方もいらっしゃいます。地域医療連携室では、入院早期から患者さんの在宅での生活を踏まえた退院計画を立て、家庭内での受け入れ態勢や介護支援体制のお手伝いをしています。「早期治療・早期リハビリの介入は、患者さんの回復も早く、退院支援を行ううえでも短期間の支援で円滑な自宅退院に向けての調整が可能となっています。」(医療ソーシャルワーカー

カー：池田辰也)

先生の考えておられる手術内容の充実や、疾患ごとの入院から早期退院に向けてのクリニカルパスの充実、院内だけでなく、地域連携にも繋がるものであり、地域医療の充実を目指すものです。今後も、病院の理念でもある良質で安全な医療の提供のため、職員一同自己研鑽に努め質の高いチーム医療を実践していきます。



退院に向けて各職種が集まりカンファレンスを行います

からだに効く
レシピ

Point!
魚を肉に変えても
おいしく頂けます。
きのこの種類を変えて
オリジナルレシピを
楽しむのもOK

大洲中央病院栄養科

鮭ときのこのクリーム煮

とろとろマイルドな味わいで、心も体も温まる。

■材料 (2人分)

○鮭……………2切れ(120g)	○サラダ油②………大さじ1(15g)
○塩①……………小さじ1/4(1.2g)	○にんにく……………1/4の片分
○こしょう①……………少々	○牛乳……………100ml(カップ1/2)
○小麦粉………大さじ1と1/2(22g)	○コンソメ(顆粒)………小さじ1/2(2.5g)
○サラダ油①………大さじ1(15g)	○塩②……………小さじ1/4(1.2g)
○椎茸……………50g	○こしょう②……………少々
○しめじ……………50g	○生クリーム………100ml(カップ1/2)
○まいたけ……………50g	○パセリ……………適量(お好みで)

■作り方

- ①きのこ類は食べやすい大きさに、鮭は1切れを3〜4等分に切る。
- ②鮭に塩①、こしょう①をふり、小麦粉をしっかりとまぶす。
- ③フライパンに油①をひき、鮭の皮の面から両面を焼き、焼けたら一旦取り出す。
- ④油②をフライパンに足し、薄切りにしたにんにく炒め、香が出たらきのこを入れ、2分ほど押し焼きにする。しんなりしてきたら、上下を返しながらかき混ぜる。
- ⑤牛乳、コンソメ(顆粒)、塩②、こしょう②をボウルに混ぜ合わせ、最後に生クリームを入れてクリームソースを作る。
- ⑥きのこのかさが2/3ぐらいになったら、クリームソースを加えて煮立てる。煮立ったら、さらに1〜2分煮込む。
- ⑦フライパンに焼いた鮭を戻し、煮汁をかけながら中火のまま4〜5分煮る。味をなじませたらお皿に盛りつけ、お好みで刻んだパセリをかけて完成。

すぐそばにある絵画
院内美術館 13

『釈迦十大弟子二菩薩(須菩提、富樓那)』
棟方志功 作

“世界のムナカタ”と
ならしめた全12点の大作

棟方志功の代表作であり、二菩薩と、釈迦10人の高弟の姿を彫った『釈迦十大弟子二菩薩』。全12点からなるこの作品を6回に分けてご紹介しています。3回目となる今回は、1Fエレベーター横にある「須菩提」と「富樓那」です。棟方の真骨頂である白と黒の絶対的対比からなる力強い版画を、ぜひ一度ご覧ください。

次号は棟方志功
『釈迦十大弟子二菩薩(全十二点)』より
『羅睺羅、阿難陀』をご紹介します。

健康講座

■会場 大洲中央病院 2階 第一研修室
■時間 午後2:00〜3:00

【開講予定】

◎10月29日(木)
「もしも」の時に役立つ救命処置 …… 救急看護認定看護師

◎11月26日(木)
インフルエンザの基礎知識と予防対策 …… 検査技師
糖尿病シリーズ1 基礎知識 …… 愛媛糖尿病療養指導士

◎12月24日(木)
糖尿病シリーズ2 三大合併症 …… 愛媛糖尿病療養指導士
糖尿病シリーズ3 運動療法 …… 愛媛糖尿病療養指導士

◎1月28日(木)
糖尿病シリーズ4 薬物療法 …… 薬剤師
糖尿病シリーズ5 食事療法 …… 栄養士

参加自由
入場無料

※都合により内容が一部変更となる場合があります。
あらかじめご了承ください。
※場所を変更する場合があります。

日本診療情報管理学会学術大会

9月17日、18日に、「診療情報は、いのちの記録」というテーマで、日本診療情報管理学会学術大会が岡山で行われました。

学術大会では、全国から300以上の演題が発表されました。現在情報の電子化が進み、新しいシステムに対応する為の準備や、効率的な業務体制を構築することが重要となっています。

当院でも、診療情報管理士3名が参加し、「当院におけるDPCフォーマットデータ作成の取り組みについて」、「診療録管理体制加算1の取得に際しての当院の取り組みについて」の2題を発表しました。

全国での発表は初めてでしたが、発表後、いろいろな方に声をかけていただき交流の場となりました。

また、特別企画として、ソプラノ歌手村上彩子さんの「命と歌を響かせて」や、学校法人ノートルダム清心学園の渡辺和子理事長の市民公開講座は、命の大切さを改めて考えさせられる素晴らしい講演でした。

今回の経験や、学術大会で学んだことを、これからの業務に活かせるよう、日々努力していきたいと思っています。



診療情報管理士 土居 睦美

応急手当の重要性を学ぶ



7月30日にリハビリテーション科を対象とした一次救命措置の講習会が開催されました。方法は理解していても、実際にやってみると心臓マッサージは思った以上に体力が必要ということがわかりました。心臓マッサージは途切れなく継続する事が重要な為、タイミングを合わせて交代するなどのポイントを確認しつつ、万に備え一同額に汗を浮かべながら積極的に取り組みました。

理学療法士 大西 修平

火災避難訓練に参加して

8月24日に火災避難訓練を行いました。夜間に病棟からの出火を想定して行っただけですが、訓練だと分かっているにもかかわらず非常ベルが鳴ると、何を優先して行動したらいいのか焦ってしまいました。しかし、リーダー看護師の的確な指示で、初期消火や患者さんの避難誘導での各々の役割を落ち着いて実行する事ができ、リーダーとメンバーの連携の重要性を再確認する事ができました。

今回は、病棟に設置してある消火栓を使用し、放水訓練を行いました。ホースから出る水は勢いがあり、筒先が重くてのを定めることが難しく苦労しましたが、防災設備の位置を把握し、必要時は直ぐに使用できるよう日頃から訓練しておくことは大切だと思いました。災害はいつ起こるか分からないので、日頃から防災意識を持って業務に当たることの重要性を学ぶことができ、とても良い経験になりました。



看護師 河野 友美

外来診療医師一覧表 (この外来診療医師一覧表は、11月1日からです。)

診療科目		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内 科	1 診	近藤 誠司	休診日	休診日	大久保啓二※	大久保啓二※	近藤 誠司	大久保啓二
	2 診	山上 隆司			山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3 診	井上 明子			井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
外 科	1 診	森岡 徹			森岡 徹	森岡 徹		森岡 徹
	2 診	満谷 臨			満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨
	3 診							
整形外科	1 診	栗田 英明			冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	栗田 英明
	2 診							冲永 昌弘
泌尿器科		清水 公治			清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経 外科	1診(新患)	西原 潤			西原 潤	藤原 聡	山下 大介 未廣 (隔週)	藤原 聡
	2診(新患)	藤原 聡			藤原 聡	西原 潤		西原 潤

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり) ※は、予約診療になっています。

休診日 救急診療のみ……1月1日(金)、1月2日(土)、1月3日(日)
休診日……火曜、水曜、10月12日(月)、11月23日(月)、1月11日(月)
年末年始……12月29日(火)～1月3日(日)は一般診療は休診

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

編集後記

暑かった夏も終わり、季節は本格的な秋へと移行変わろうとしています。今年の中秋の名月は、スーパームーンも重なり、お団子やお酒を片手にお月見を楽しんだ方も多いのではないのでしょうか。また、この時期といえば愛媛県大洲市発祥といわれ300年以上の歴史がある『いもたき』。河原で食べるもよし、家庭で食べるもよし、温かいいもたきを食べて寒さを吹き飛ばしましょう。

発行／医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集／広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事)／
京河 雅史(放射線科)／伊場 紀子(看護副部長)／
山下 恵里(看護部)／
福田 修治(リハビリテーション科)／
大西 修平(リハビリテーション科)／
松本 奈緒(総務課)／平田香奈(栄養科)